

マイノリティーへ配慮する社会とは 人間力を強化して差別意識を無くす

多様性、マイノリティー（少数者）という言葉が社会に認知されてきた。日本社会では認知度が高くなってきたが、国際的には理解度が低いと言われている。

多様性を受け入れる社会の是非

昨今の世の中の風潮として、男女の別をなくそうという動きが見受けられる。特に学校教育現場に赴くと、制服を共通化したり、配布物も男女同一にしたり、共用トイレを設けたりしている。若年層の方々はそういった教育の中におかれて、自然な形で多様性を受け入れる態勢が作られているようだ。

男らしさ、女らしさは過去のものとなり、男性、女性だけが性別ではなく、

※¹トランスジェンダーの人もある一定数はいるものと捉え、型にはまらない、枠にとらわれないものが求められる時代になった。今まで生きにくかった少数者の声も届き、少しずつ社会に明るさを感じる世の中になったように感じる。

しかし一方では、本来人間は男女の両性が結合することによって、子を産み育てて来たということは、どんなに時代が進んでも変わらない事実である。そして、子供たちが育ち社会は継続されていく。今、価値観の多様化した社会において、何が本当に正しいのか、

分からなくなってきた感も否めない。今一度立ち止まって考えてみたい問題ではなからうか。

過去の日本には同和問題というものが長く存在し、同じ国民同士で差別をして、婚姻関係を結ぼうとせず、貧しい地域に住まわせて、職業も下賤なものを強要していた時代があった。古くは封建制度から発しており、身分制度の士農工商の下に穢多、非人（ひにん）という階層を設けて、階級社会を作ること国内をまとめていた。

しかし、明治に入ってから制度とし



プライドパレードで掲げられたレインボーフラッグ。

※ 1 トランスジェンダー：生物学的性と性自認が一致していない人。

ては廃止され、その方々は法的に解放されたが、実際には最近まで同和問題として差別は残ってきている。現在は住まいも清潔になり、職業も差別されにくくなってきているが、それでも婚姻に関してはいまだに差別が残っているようだ。

同じ日本の地に生まれた人間同士、何故そのような扱いをするのか、自分がそうされたらどう感じるのかと怒りがこみあげるが、どの国の社会にもこのような問題は多少の差はあっても存在するようだ。

簡単に白黒を線引きできない

過去において決して口にできなかった性的少数者の存在は、現在では国によって寛容性は異なるが、婚姻関係まで認める国がアメリカ、ヨーロッパを中心に拡大してきている。逆に、中東、アフリカを中心としたイスラム教国家では死刑や禁固刑など、かなり厳しい線を出しており、宗教、思想の違いから性的少数者への接し方は顕著に異なってきた。

では、マジョリティーはどうなのかというと、自分の身体が女性で、心も女性だとしても男性的なものも多少はあったりもする。考え方や論理的思考が男性的な女性もいる。料理や裁縫が得意で、女性以上に女性的な男性も中にはいる。そういう意味では人間は同時に男性的なものも女性的なものも両方を持ち合わせているのが、人間なのではないかと考える。

西インド諸島のドミニカ共和国のある一族には、生まれた時に性別が決まらないという遺伝子を受け継ぐ人々がいる。その人達は小さい頃は女の子だと思って育てていたが、長ずるにつれて、男性の身体に育ち、心の面も男性になる場合がある。それは特殊な遺伝情報が影響しているようだが、トランスジェンダーの方はそういった身体的遺伝情報の取り違いから生じたケースもあるのではないかと想像する。

排除や差別は 人間的な感情から起こる

いずれにしてもトランスジェンダーの人たちが生きにくかった社会が生き

やすくなるのは良い事だと思う。また、その方々の置かれている現状をよく知り、理解を深めることも重要だ。社会的保障や職業の自由なども必要だと思う。排除ではなく共存を目指したい。そしてもしもその身体や心の状態に病的なものがあるとしたら、それを解消する方法も探したい。少しずつ研究は進んできているが、これまで社会が蓋をしてきた分野なので、本人たちも打ち明けることができずに生涯を終えたことが多いようだ。何がそうさせたのか、何か大きな心の傷を負った過去があるのかもしれない。単に遺伝的な問題なのかもしれない。生後の脳の発達の問題もあるかもしれない。

これからの私たちが作る社会は異質なものをただ排除するのではなく、それを個性と認める鷹揚さも時には必要だと思う。トランスジェンダーを理由に不利益な取り扱いを受けることがないような社会ができるだろうか。排除する行為、差別意識などは人間的な感情から起こるものであるから、人間性が豊かになれば、そのような社会は改められるものと思う。

(里口朝子)

※ 2 性的少数者：同性が好きな人や自分の性に違和感を覚える人、性同一性障害などの人々。レズビアンやゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字を取ってLGBTとも言う。